# Scala のビルドツール作ったら 想像以上に難しかった話

2024-06-22

Affiliation: JAIST, Doctoral Course

Name: ADACHI Yuya

E-mail: s2120001@jaist.ac.jp

## 既に以下のビルドツールが存在して使われている

- sbt (Simple Build Tool): Scalaの最も一般的なビルドツールで、Scalaプロジェクトのビルド、テスト、実行を簡単にするために設計されています
- Mill:sbtの代替として開発されたビルドツールで、簡潔さとパフォーマンスを重視しています
- Scala CLI: Scalaのコマンドラインインターフェースツールで、シンプルなスクリプトから複 雑なプロジェクトまで、Scalaコードのコンパイル、実行、テストを容易にします

## 疑問点 その1

- 3つとも、何故か独自のDSL※で設定を記述する仕様になっている
- 次ページで設定ファイルのサンプルを表示する

※ DSL(ドメイン特化言語、Domain-Specific Language)は、特定の問題領域(ドメイン)に特化して設計されたプログラミング言語のことを指します

※ Mill は設定もScala で記述する仕様 3/16

# sbt の設定ファイル (build.sbt)

```
name := "SampleProject"
version := "0.1.0"
scalaVersion := "2.13.12"
libraryDependencies += "org.scalatest" %% "scalatest" % "3.2.16" % Test
```

# Mill の設定ファイル (build.sc)

```
import mill._, mill.scalalib._
object SampleProject extends ScalaModule {
  def scalaVersion = "2.13.12"
  def ivyDeps = Agg(
    ivy"org.scalatest::scalatest:3.2.16"
  def testDeps = Agg(
    ivy"org.scalatest::scalatest:3.2.16"
```

```
//> using scala "2.13.12"
//> using lib
"org.scalatest::scalatest:3.2.16"
object SampleProject {
  def main(args: Array[String]): Unit = {
    println("Hello, Scala CLI!")
  }
}
```

## 疑問 その2

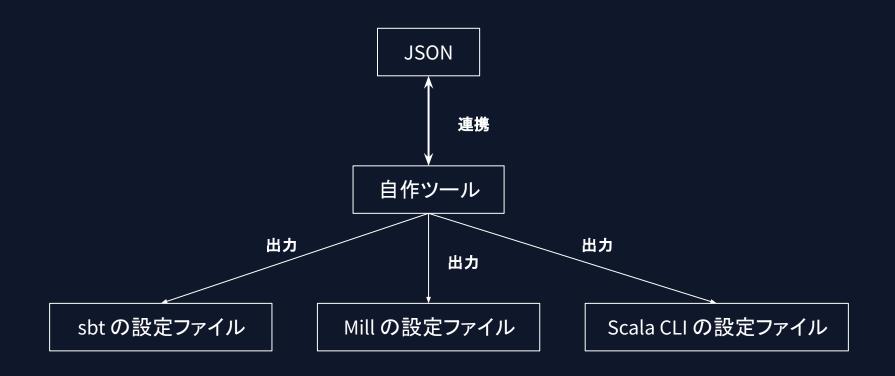
- CLI でライブラリを追加できない
- npm や dotnet では以下のコマンドで最新のライブラリを追加できる

```
$ npm install express
$ dotnet add package Newtonsoft.Json
```

#### 要求仕様

- npm のように JSON で設定ファイルを管理できる
- サブコマンドで最新のライブラリをインストールできる
- フルスクラッチのビルドツールではなく、既存ビルドツールをサポートする位置づけにする

# 簡易的なアーキテクチャ



#### Java に関する予備知識

- Java のライブラリを Fetch するには以下の情報が必要になる
  - o groupId (例) com.lihaoyi
  - o artifactId (例) os-lib
  - o version (例) 0.10.1
- フルパスで表すと以下のようになる
  - o com.lihaoyi::os-lib:0.10.1

#### CLI の実装仕様

● 自作ツール名をhoge, サブコマンドをadd とすると以下のようなコマンドになる

\$ hoge add com.lihaoyi::os-lib:0.10.1

● バージョンを指定しない場合は自動的に最新版をインストールしてほしい。

\$ hoge add com.lihaoyi::os-lib

com.lihaoyi::os-lib:0.10.1 や com.lihaoyi::os-lib などの文字列をパースしてgroupId,
 artifactId, version として認識させる必要がある

#### 実際に実装したサブコマンド群

- なんやかんや面倒くさいが以下のサブコマンドを実装した
  - init:設定ファイルの build.json を生成する
  - add:ライブラリをインストールする
  - export:他のビルドツールの設定ファイルを出力する
    - 現状は Scala CLI のみに対応している

# init サブコマンド

▶ hoge init を実行すると以下のbuild.json が出力される

```
"scalaVersion": "3.4.2",
"dependencies": []
```

#### add サブコマンド

- hoge add com.lihaoyi::os-lib を実行すると以下のbuild.json が出力される
- ちゃんと最新のバージョンがインストールされていることがわかる

```
"scalaVersion": "3.4.2",
"dependencies": [
    "groupId": "com.lihaoyi",
    "artifactId": "os-lib_3",
    "version": "0.10.2"
```

## export サブコマンド

● hoge export を実行すると以下が出力される

```
$ hoge export
//> using 3.4.2
//> using com.lihaoyi:os-lib_3:0.10.2
```

● Scala CLI 用の設定コードが出力される

#### 今後の展望

- 現状、Scala CLI にしか対応してないので他のビルドツールにも対応したい
- GitHub Actions で自動ビルドできるようにしたい
- 他にも細かい部分で煮詰まっていない仕様があるのでブラッシュアップしたい